



リスペクト

校長 阿南 孝也

「リスペクト」という言葉をご存知でしょうか。「尊敬する」という意味で使われることが多いようです。“respect”を辞書で調べてみると、確かに「尊敬、敬意」が1番に出てきますが、続いて「尊重、配慮」という意味が登場します。

“We must have respect for his opinion on the subject.” 「その問題で彼の意見を尊重しなければならぬ」のように使われるのです。語源を調べると「re(再び)+ spect(見る)」、すなわち、「二度見する」「振り返って見る」ということから、「軽く見ない」→「尊重する」という意味に繋がるのだと思います。私はむしろ、誰かと比較して秀でているから「尊敬」するという使い方よりも、ありのままの相手に敬意を払う、尊重するという意味の方が語源に近いように思えます。リスペクトは、好き嫌いを超えて、言い換えると、たとえ嫌いな相手、気が合わない相手だとしても、軽んじたり、無視したり、バカにするのではなく、「人としての価値を認める」という素晴らしい言葉だと思うのです。

こう考えていくと、イエス・キリストがご生涯を通して教えてくださった「愛」(ギリシア語「アガペー: αγάπη」、英語「チャリティ: charity」、ラテン語「カリタス: caritas」)の行いとよく似ていることに気づきます。

イエスは全ての人を感情的に好きになるよう命じられたものではありません。神が愛ゆえにご自身に似せて創造されたすべての人が大切にされ、その人らしく生きていくことができるよう応援することです。好きな人や気の合う友達を大切にすることはそんなに難しい事ではありません。ですからキリストの教えは、あまり好きではない人、自分とは趣味の合わない人に対して、その人を大切にできるかどうかにかかっているのです。

洛星で学ぶ皆さん、学校で過ごす時間や登下校時に、周りの人の気持ちになって考えるように心がけてください。互いの違いを認め合い大切にすることは素晴らしい事です。目立つと嫌だからといって、おとなしく、小さくまとまることなく、一人ひとりが自分の思いを主張し、同時に人の話をよく聞いて、互いを思いやり支えあう、伸びやかな仲間、お互いに愛し合う仲間として成長してくれることを願っています。

27日(木)から中間考査が始まります。中学高校時代、豊かな心を育むとともに、知的な能力を発達させることは極めて大切なことです。定期考査は学びの過程の中で重要なことのひとつです。納得のいく結果が得られますように、よく準備して悔いのないよう臨んでください。